

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 2 区分
【発行日】平成30年2月22日 (2018.2.22)

【公開番号】特開2017-123455(P2017-123455A)
【公開日】平成29年7月13日 (2017.7.13)
【年通号数】公開・登録公報2017-026
【出願番号】特願2016-215137(P2016-215137)
【国際特許分類】

H 0 5 K 1/02 (2006.01)

【 F I 】

H 0 5 K 1/02 D

H 0 5 K 1/02 P

【手続補正書】

【提出日】平成30年1月12日 (2018.1.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

フレキシブルプリント配線板の実装面に対する裏面に補強部を有し、前記補強部の一方の面に厚さ 50 μ m 以下の導電性基材を有する補強部付フレキシブルプリント配線板であって、前記補強部の 25 における引っ張り弾性率 (x 3) が 2,500 MPa 以上であり、前記補強部が熱硬化性材料の熱硬化物であり、前記熱硬化性材料の 25 における引っ張り弾性率 (x 1) が 50 ~ 2,500 MPa の範囲であり、かつ、その熱硬化物である前記補強部の 25 における引っ張り弾性率 (x 2) が 2,500 MPa 以上であることを特徴とする補強部付フレキシブルプリント配線板。

【請求項 2】

前記補強部の厚さが 50 ~ 350 μ m の範囲である請求項 1 に記載の補強部付フレキシブルプリント配線板。

【請求項 3】

前記導電性基材が、厚さ 5 μ m ~ 20 μ m の範囲のアルミニウム箔である請求項 1 または 2 に記載の補強部付フレキシブルプリント配線板。

【請求項 4】

請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の補強部付フレキシブルプリント配線板の前記導電性基材の表面に、直接または他の層を介して、クッション材が積層された構成を有することを特徴とする電子機器。